令和６年１０月３１日
北九州市教育委員会

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等に関する調査の結果について

本調査は、文部科学省が生徒指導上の諸課題の現状を把握することにより、今後の施策の推進に資するものです。

毎年度、暴力行為、いじめ、長期欠席の状況等について、北九州市は文部科学省から委託を受け調査を行っています。前年度の全国の調査結果を文部科学省が集約・精査後、毎年10月頃公表しています。

文部科学省より、「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における北九州市の結果が公表されましたので、お知らせいたします。

それぞれの項目の校種は、文部科学省による調査の公表校種と同様としています。

１　実施学年・調査内容

◇　実施学年　　市立の全小学校（126校）　市立の全中学校（62校）　特別支援学校（8校）　高等学校（1校）

◇　調査内容　　① 暴力行為　②いじめ　③長期欠席　等

２　調査対象者数　　小学校44，323人　中学校22，161人　特別支援学校1，223人　高等学校583人

３　調　査　年　度　　令和5年度

主な結果

１　暴力行為の発生状況について　［小・中・高］

区分	小・中・高の合計		
	３年度	４年度	５年度
対教師暴力	３７件	５４件	４３件
生徒間暴力	１４８件	１２４件	１１９件
対人暴力	０件	１件	０件
器物破損	２７件	４１件	３０件
計	２１２件	２２０件	１９２件

1,000人当たりの暴力行為の発生件数（全国との比較）

区分	小・中・高の合計		
	３年度	４年度	５年度
北九州市	３.１件	３.２件	２.９件
全国	６.０件	７.５件	８.７件

○　暴力行為の発生件数は、前年度比で、２８件減の１９２件となっている。
○　児童生徒１，０００人当たりの発生件数では、前年度比で０．３件減の２．９件となっている。全国との比較では、５．８件少ない。

２　いじめの認知状況について　［小・中・高・特］

区分	小・中・高・特の合計		
	３年度	４年度	５年度
認知件数	１,９６７件	１,９３９件	８９２件
解消率	９７.２％	９４.７％	８１.１％
解消率（全国）	８０.１％	７７.１％	７７.５％

1,000人当たりのいじめ認知件数（全国との比較）

区分	小・中・高・特の合計		
	３年度	４年度	５年度
北九州市	２８.１件	２８.０件	１３.１件
全国	４７.７件	５３.３件	５７.９件

主な結果

※　いじめ重大事態発生件数１件（本市独自調査）
※（注意）「重大事態」とは、いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号に規定する「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」及び同第2号に規定する「いじめにより、当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」
※　解消率　「３月までのいじめの解消数÷いじめの認知件数」で計算
※　解消の定義：次の２つが満たされていること（文科省より）
①　少なくとも３カ月は、いじめにかかわる行為がやんでいること。
②　被害児童生徒が、心身の苦痛を感じていないこと。

○　いじめの認知件数は、前年度比で、１，０４７件減の８９２件となっている。
○　いじめの解消率は、前年度比で、１３．６ポイント減の８１．１％となっている。全国との比較では、３．６ポイント高い。
○　児童生徒１，０００人当たりのいじめ認知件数は、前年度比で、１４．９件減の１３．１件、全国との比較では、４４．８件少ない。

３　長期欠席の状況について［小・中］

区分		小学校			中学校			合計		
		３年度	４年度	５年度	３年度	４年度	５年度	３年度	４年度	５年度
長期欠席	病気	230人	308人	966人	315人	526人	791人	545人	834人	1,757人
	経済的理由	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	不登校	416人	610人	808人	1,114人	1,336人	1,562人	1,530人	1,946人	2,370人
	その他	921人	665人	275人	559人	326人	65人	1,480人	991人	340人
	新型コロナウイルスの感染回避	843人	248人	―	439人	109人	―	1,282人	357人	―
計		2,410人	1,831人	2,049人	2,427人	2,297人	2,418人	4,837人	4,128人	4,467人

※　長期欠席は、令和３・４年度は「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」及び「出席停止・忌引き等の日数」の合計、令和５年度は「欠席日数」の合計により、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒数を　理由別に調査したもの。

1,000人当たりの不登校児童生徒数（全国との比較）

区分	小学校			中学校			合計		
	３年度	４年度	５年度	３年度	４年度	５年度	３年度	４年度	５年度
北九州市	9.1人	13.5人	18.2人	49.7人	59.7人	70.5人	22.5人	28.8人	35.6人
全国	13.0人	17.0人	21.4人	50.0人	59.8人	67.1人	25.7人	31.7人	37.2人

○　長期欠席児童生徒は、小学校は２，０４９人、中学校は２，４１８人となっており、合計では４，４６７人となっている。
○　そのうち、病気を理由とする長期欠席児童生徒数は、小学校は９６６人、中学校は７９１人、合計で１，７５７人となっている。また、経済的理由の長期欠席児童生徒数は、小・中学校ともに０人となっている。また、その他の理由による長期欠席児童生徒数は、小学校は、２７５人、中学校は６５人、合計で３４０人となっている。
○　不登校児童生徒数は、前年度比で、小学校は１９８人増の８０８人、中学校は２２６人増の１，５６２人、合計で４２４人増の２，３７０人となっている。
○　児童生徒１，０００人当たりの不登校児童生徒数では、前年度比で、小学校は４．７人増の１８．２人、中学校は１０．８人増の７０．５人、合計で６．８人増の３５．６人となっている。